

給与支払報告書の記載例

24 給与支払報告書 (個人別 明細書) (市区町村提出)	※	※種別	※整理番号	※							
	支払を受ける者	※区分	(受給者番号)								
	住所	①平成24年1月1日現在の住所を記載してください。	氏名	(フリガナ)							
				(役職名)							
	種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額						
	給与・賞与	内 ② 千円	千円	千円	千円						
	控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く)	障害者の数(本人を除く)	社会保険料等の金額						
	有 無 従有 従無	千円	特定 老人 その他	特別 その他	生命保険料の控除額						
		③	④	⑤	⑥ 千円						
	(摘要)住宅借入金等特別控除可能額	⑧ 円	国民年金保険料等の金額	円	配偶者の合計所得						
居住開始年月日	⑨	⑦		個人年金保険料の金額							
				旧長期損害保険料の金額							
扶養親族	16歳未満	未成年者	外国人	死亡退職	災害者	乙欄	本人障害者	寡婦	勤労学生	中途就・退職	受給者生年月日
⑪人							特 別	一 般	夫 学 生	就 職 退 職 年 月 日	明 大 昭 平 年 月 日
										23	
支払者	住所(居所)又は所在地										
	氏名又は名称	(電話)									

(摘要)に控除対象配偶者、扶養親族の氏名、続柄及び前職分の加算額、支払者等を記入してください。

- ② 「支払金額」欄の「内」には、支払の確定した給与等のうち、報告書を作成する日においてまだ支払っていないものについて内書してください。
- ③ 「控除対象扶養親族の数」欄の「特定」欄には、満19歳以上23歳未満の扶養親族(昭和64年1月2日から平成5年1月1日までの間に生まれた人)の数を記入してください。また、満16歳未満の扶養親族(平成8年1月2日以後に生まれた人)がいる場合は、⑪の「16歳未満の扶養親族」欄に人数を記入してください。
- ④ 「老人」の欄の「内」には、同居老親等に該当する老人扶養親族の数を内書してください。
- ⑤ 「障害者の数」欄の「内」には、同居特別障害者に該当する扶養親族の数を記入してください。障害者の数には、16歳未満の扶養親族も含まれます。
- ⑥ 「社会保険料等の金額」欄の「内」には、小規模企業共済等掛金の額に係る控除の額を内書してください。
- ⑦ 「(摘要)」欄には、控除対象配偶者、扶養親族の名前を記入してください。この際、16歳未満の扶養親族には名前の横に「(年少)」と付記してください。例：太郎(年少)
前職分給与等を合算した場合は、「(摘要)」欄に合算した給与等の金額、徴収した税額、社会保険料等の金額、支払者の住所・名称、退職した年月日を記入してください。
- ⑧ 「住宅借入金等特別控除可能額」には、住宅借入金等特別控除額が算出税額を超えるため、年末調整で控除しきれない控除額がある場合に記入してください。
- ⑨ 「居住開始年月日」には、住宅借入金等特別控除の適用がある場合に、その適用を受けた家屋又は増改築等をした部分を居住の用に供した年月日を記入してください。
- ⑩ 「個人年金保険料の金額」欄には、生命保険料の控除額のうち、個人年金保険料の金額に係る控除が含まれる場合に、その個人年金保険料の金額を記入してください。